

救急部

●体制

時間内の救急外来は2名の救急部専属の医師(日本救急医学会指導医)が対応している。内科系救急疾患については総合内科医も協働して1次救急から3次救急まで救急患者の初期診療を行っている。専門的な治療、技術が必要な場合には各科の救急担当医がそれに当たる。循環器センター(CCU)と脳神経外科(頭部外傷を含む)は第3次救急医療施設として365日24時間体制で重症患者の受け入れを行っている。

夜間(時間外)、休日は内科系医師3名、外科系医師2名、研修医3名の計8名が救急外来の担当医として日当直を行う。さらに循環器内科、脳神経外科、産婦人科、小児科、麻酔科は毎日単科で当直に入っており、総数13名の医師が当直している。また、すべての科は当直時間帯にも専門科医が治療を行うことができるようバックアップ体制を敷いている。

救急部には救急初期治療室(2名対応可)の他、救急処置用ベッド12床の、経過観察入院用病室2室を擁し、救急車受け入れ9856件を含む、年間総数27528件の救急患者の受け入れを行っている。

当直医は当直時間帯での業務に関しては当直業務マニュアルに則って行っており、研修医への教育、指導体制も整えている。

救急部は総合内科とともに総合診療センターを構成し、病院内の初期診療への対応に力を入れている。

●専従スタッフ

- ・ 部長 木内俊一郎
- ・ 副部長 新谷 裕

●実績

平成 28[2016]年度救急部受け入れ患者の内訳(平成 28[2016]年 4 月から平成 29[2017]年 3 月まで)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総計
救急患者総数	2174	2419	2128	2407	2255	2073	2284	2384	2610	2607	1989	2198	27528
時間内 患者数	539	520	591	558	603	555	577	571	549	570	546	584	6763
時間内救急車数	171	173	195	219	201	160	169	189	174	195	181	209	2236
時間内 入院数	145	144	176	166	141	144	151	154	151	162	146	174	1854
時間外 患者数	1635	1899	1537	1849	1652	1518	1707	1813	2061	2037	1443	1614	20765
時間外救急車数	544	656	570	676	622	583	635	679	711	736	532	676	7620
時間外 入院数	298	326	256	367	295	282	332	327	350	377	253	315	3778
入院総数	443	470	432	533	436	426	483	481	501	539	399	489	5632
救急車数	715	829	765	895	823	743	804	868	885	931	713	885	9856
救急車入院	222	245	221	268	224	212	234	250	277	310	219	267	2949
紹介患者数	213	237	230	258	200	202	209	230	226	204	181	221	2611
小児総数	742	769	688	860	688	574	746	775	870	771	655	639	8777
小児外来	615	646	579	701	548	459	607	610	727	649	556	511	7208
小児救急車	149	148	148	216	176	123	150	172	181	174	157	166	1960
小児の入院	127	123	109	159	140	115	139	165	143	122	99	128	1569
小児紹介患者数	65	58	59	79	57	58	75	82	55	49	45	53	735
CPA	6	9	9	8	6	5	7	12	8	13	6	15	104

●論文

新谷 裕、木内俊一郎

アナフィラキシーショックの治療中に心室細動を併発した Kounis 症候群を疑う 1 例
大阪救急、93 号 14-16,2016 年

新谷 裕、木内俊一郎

小児の急性薬物中毒が虐待であった 1 例
中毒研究、29 巻 4 号 365-366,2016

●出版

木内俊一郎

直腸異物 救急での異物除去
45-53 2016、羊土社

新谷 裕

中毒性疾患 石油製品中毒(ガソリン・灯油)
今日の治療指診 2017 年版、140 2017、医学書院